

鹿島建設株式会社

所在地 東京都港区元赤坂1-3-1

従業員数 7,989人

事業内容 建設事業、開発事業、設計・エンジニアリング事業ほか

(令和3年3月31日現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

2006年に着任した本社の現産業医は、健康管理センターにおける医療活動の充実を図るとともに、全国に散らばる支店や工事事務所に頻繁に出向き、全社的な健康管理活動の推進に注力してきた。その過程で、事業所が全国に散在し、多数の工事現場を抱えるという当社の特性から、社員全体の健康管理を大きく前進させるには、従来の方法だけでは限界があることを痛感していた。このような状況下、「従業員の健康保持・増進のための取組みは将来的に収益性等を高める投資である」とする健康経営の概念を取り入れることで、全社が一丸となって社員の健康の保持・増進を一層進めることができるものと確信し、健康経営の必要性を広く説くようになった。このような経緯により、2015年より本格的に健康経営に取り組むようになり、その後、グループ企業やサプライチェーンに対しても、健康経営に関する啓蒙活動を広く展開している。

特に力を入れた取り組みとその効果

コロナ禍により、これまでとは異なる働き方や暮らし方を余儀なくされ、在宅勤務やテレワークが増加している中、運動不足や食生活の乱れ等から体重が増加してしまう社員が増えていることが確認された。そこで、土健保制作の食生活改善についての動画「太らない！ちょい足し生活（食事療法について）」をインターネットに配信し、全社員に周知のうえ、いつでも社給パソコンで視聴できるようにした。この動画は、土建保の保健師の方が、肥満のメカニズムや肥満を回避するための上手な食事のとり方をとても分かりやすく説明して下さっていることから、視聴者の間で好評を博しており、2021年5月の配信開始以降、視聴回数は1,000回に迫っている。現時点で直ちに成果確認はできていないが、食事療法はある程度の時間を経て効果が現れてくるものなので、次年度の健康診断の結果を楽しみにしたい。



健康管理センターのスタッフ



動画視聴の様子

ホームページ

<https://www.kajima.co.jp/sustainability/society/health/index-j.html>